

2022年1月24日
矢崎エナジーシステム株式会社

国内初、大型トラックへの デジタルタコグラフ装着が J クレジット制度の対象に

2050年カーボンニュートラル実現に向けて

矢崎エナジーシステム株式会社(本社：東京都港区、社長：矢崎航)は、2021年12月2日のJクレジット制度運営委員会(*1)で承認された、「Jクレジット制度」の対象項目に大型トラックへのデジタルタコグラフ(以下デジタコ)の装着を追加する方法論の改定に基づき、それを活用した事業推進の考え方を発表します。

1960年に日本初の機械式タコグラフの製造を開始した矢崎エナジーシステムは、1999年に国内初のデジタコを開発・販売し、運送事業者様の安全・安心、省エネ、環境対策などに貢献してまいりました。地球温暖化対策の必要性が飛躍的に高まり、2050年カーボンニュートラル達成を国として宣言している中、当社では運輸部門、特にトラックによるCO₂の排出量を効果的に削減するソリューションの開発・提案を目的とし、Jクレジット制度に注目しました。

Jクレジット制度とは、温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。中小企業による自主的な排出量削減施策や省エネ設備の導入などの活動が対象とされたため、法律に基づいて義務付けられている大型トラックへのタコグラフの装着に関しては、デジタル方式のものも含めて対象外とされておりました。それに対し、大型トラックへのデジタコの装着は、アナログ型でも義務を果たすことができる中で、運送事業者の方々の安全や環境対策の分野でのより質の高い努力を反映したものであり、Jクレジットによる促進に値すると考え、関係省庁に対してJクレジット制度の対象項目に追加するよう働きかけて、これを実現しました。

これにより、全ての運送事業者様が大型・小型などの車型や、搭載機器の種類に関係なく、デジタコの装着がJクレジット制度の対象となり、物流業界での事業活動を通じた地球温暖化防止に大きく貢献することが可能となりました。

今後、運送事業者様向けにデジタコを活用したJクレジット制度の活用マニュアルを作成し提供することで、CO₂削減活動の普及を促すとともに、グループ企業である翔運輸との合同プロジェクトを立ち上げ、2022年度中の登録を目指し取り組んでまいります。また、デジタコ活用で創出されたクレジットの買い取りや仲介を通して、総合的に運送事業者のカーボンニュートラル活動を支援することも視野に入れてまいります。

矢崎エナジーシステムは、デジタコの装着が、交通事故の削減、燃料費(経費)の抑制、労働環境の改善に加えて、更にCO₂を削減し、クレジット(価値)化させることにより、社会と運送事業者様に貢献し続けるシステムで在り続けるように事業を展開してまいりたいと考えています。

【方法論番号】

EN-S-023

(*1) Jクレジット制度運営委員会：経済産業省、環境省及び農林水産省が事務局を務め、Jクレジットの制度管理者に対し、基本文書の決定、改廃などに関して意見を述べる委員会。

本件に関するお問い合わせ先

矢崎エナジーシステム株式会社 計装営業統括部 事業企画部

担当：向田・藤田

Tel. 054-283-1155

Fax. 054-283-1173